

まさかこの時期に運動会のことを書くとは予想外でした。晴天続きで涼しく練習も順調に進みました。時間短縮・内容も削減でしたが、子どもたちの楽しそうな顔がいっぱいで『小さくてもキラリと輝く運動会』になったと思います。保護者の皆様には不便な参観でありましたし、参加ができない運動会でしたが、ぜひまた通常に戻る日を楽しみにしてください。近隣の皆様には「やっぱり運動会の練習で、音楽が聞こえ子どもの声が響くのは、こちらも元気になる」と言っただきありがとうございます。なお、養正地区体育振興会様から“子どもたちに元気ががんばってほしい”と特別に参加賞をいただきました。



コロナとのたたかいは続く

ふれあい行事は、本部直営で、急速な状況の変化に対応し、感染症対策にも相当に気をつかった運営をしていただきました。今後の行事も急な対応の変更ができることも多々あるかと思いますが、状況の変化に付き合いながら可能性を模索していくしかありません。

『“月”清光無何処』

(“つき”せいこういづれのところにか なからん)

6年生が茶道体験をお世話になった先生に感想の手紙を送ったところ、お返しにお手紙をいただき、そこに書いていただいた言葉です。「月の光はこの世界のすべての人を照ら

している。もし今は悪くてもチャンスは平等に与えられていて、自分の気持ちや行動したいで変わっていく」ということだと教えてもらいました。感染症対応について来週初めに冬季の態勢の文書をださせてもらいます。もう何版目かもわからないぐらいになりました。いつまで続くのか見通しもなくみんな心が折れそうな日々ですが、せめてこの言葉のように考えていくしかないのかなと思います。

県政だより「みえ」の11月号に伊勢の日赤病院の心理士さんの感染拡大と差別の連鎖を断ち切ろうというお話が書かれていました。日赤の関連の冊子もPDF版で紹介されています。右のQRからも見られます。



このような状況でも引き続き子どもの心の健全な成長のため、学校・家庭・地域で力を合わせてよろしく願いいたします。

6年生 津市音楽芸術体験 事業 10/27



津市出身の音楽家の谷篤さんに来ていただきました。故郷への貢献として数年前から実施してもらっています。

連合音楽会も無く、劇団四季の鑑賞もながれ、この企画の3校にあたって、ほんとうによかったです。人が歌をうたうようになった歴史や歌にこめられた思いなどのお話がありドイツ語やラテン語の歌曲を聴かせていただきました。難解な部分もありましたが、6年生の感想をみると、心をうたれたようで、「物の見方や考え方が変わりました」という意味のことも何人かが書いていました。

※帯同されたピアニストの揚原（あげはら）さんもう一流の方ですが、学校のピアノからこんな音が出るのかとみんな驚きでした。

ウラ面あり



カラスの飛来



晩秋になり丸之内地区にカラスが大量に飛来する季節になりました。いくつかの大集団がいろんな方角からいろんなところに集結して、最終はお城公園方面に行くようです。学校もひとつの集団が、薄暗くなった限られた時間帯にひと休みしていきます。屋上にもたくさん止まりますが、短時間なのでフンもほとんど落ちていません。実害はあまりないものの、気分のいいものではないのでいろいろやっていますが、有効策はありません。

夏ごろに、生物の生態や特徴は、人間がイメージとして思い描くものとずいぶん差があるということがおもしろく書かれている本を読みました。その一つに、実はカモメは海辺でしか見かけませんが、ゴミをあさったり他の鳥の巣をおそったりとやらかすことはカラスと同じらしいです。しかし、カモメは童謡の“～カモメの水兵さん…白い帽子、白いシャツ、白い服…～”というかわいいイメージがあり得をしていますが、カラスは黒い姿でイメージが最悪になって損しています。

これを読んで自分自身もまだまだ人の見かけのイメージで決め込みをしていることが多々あるなと反省しました。

参考 「カラスはずる賢い、ハトは頭が悪い、サメは狂暴、イルカは温厚って本当か？」(山と溪谷社)

GIGA スクール支援員さん

一人1台のタブレットを活用するように機器とWifi環境の整備がこれから進められることはこれまでも書いてきたとおりです。コロナがなければあと5年以上はかかったでしょう。ただ、機器がそろうのは本年度末の見込みです。児童も教員もこれを使いこなせるように、市教委が支援員さんを緊急配置し3月までに各校十数回、タブレットをもって巡回をして



もらいます。1回の来校につき3クラスずつ最初の体験をしています。基本的には『ロイロノート』というアプリを使うことが多いです。



無料版は個人や家庭でもダウンロードできます。(1,2回目の授業の様子は学校ホームページの11/13,18で)

くるりんペーパー

2月～8月で433kgをよせていただきました。トイレトペーパー391個が還元されました。たくさんありがとうございます。今後とも「毎月11日のイオン津様のイエローシート」「使用済み切手」と合わせてご協力よろしくお願ひいたします。



ヒノキ香る除菌スプレー

参観・行事などで学校に行くといい香りの除菌スプレーがおいでであるとお声があります。これは松阪の辻製油様が供給不足の解消のため新たに生産を始められ、そのスタート分を学校等に寄贈いただいたものです。

これまでPTAや各団体様・個人様から緊急支援で助けてもらってききましたが、最近国の補助金をうけて市からも少しずつアルコール製品が支給されるようになりました。



6年生修学旅行の感想(一部抜粋)

見るときはしっかり見て、聞く時もしっかり聞いて良かったと思う。スペイン村ではみんな楽しそうで、ぼくはピレネーに乗ってこわかったけど、楽しかった。みんな最後にしっかりと集合できたので良かった。みんなけんかもなく、最後は楽しく終わって良かった。(男子)

スペイン村ではみんなが乗りたいものに乗れたし、お土産を買う時も全員そろうまで待た。友情も深まったと思う。ちゃんと集合時間もしっかり守れたし、とても計画的に行動できたと思う。(男子)

スペイン村では乗り物に乗ったり、お土産を買ったりして思い出作りをした。とても楽しかったけど、修学旅行が終わってしまうと思うと少しさみしい気持ちもした。今年はコロナウイルスでいろんな行事がなくなってしまったけど、思い出作りもできた。疲れたけど、何よりも楽しかった。(女子)